100億宣言

株式会社恵那川上屋（菓子製造・販売業）

恵那川上屋

左上　栗きんとん　　右上　栗一筋
左下　サブレ　　右下　くり壱

〇本社所在地：岐阜県恵那市大井町2632番地の105
〇事業概要：菓子製造販売
〇常時使用する従業員：332名
（2025年6月時点）
〇現在の売上高：34億円
（ 2025年6月期）
〇法人番号：9200001024416
〇Web：
https://www.enakawakamiya.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役
鎌田真悟

経営理念『環喜・貫喜・大歓喜』
行動指針『和栗のブランド確立と三者が喜ぶ仕組みづくり』

恵那川上屋は栗生産者と共に超特選栗部会を立ち上げ、和栗の量産と品質向上を生産者と共に創り上げてきました。加工段階の歩留まりから向上した分を生産者に還元するなど、発足以来価格を上げ続けてきました。現在高齢化対策と新規就農参入策を実現すべく、あらゆる角度から事業を進めてきました。全国栗産地の活性化と産地間競争から産地間共創へをコンセプトに始まった（社）日本和栗協会も和栗のブランド化に向けて進めております。日本の栗が世界に向けてブランドを確立しながら、産地と手を結びバリューチェーンを確立し100億円を目指します

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 自社栗生産100トンを実現します
- サブレ事業10億円を実現します
- 和栗を世界ブランドにします
- 子会社上場します
- 2033年に売上100億円達成を目指す

課題

顧客の高齢化→ターゲットをＹ、Z世代へシフト
赤字月の解消→5年で解消
販売部門：チーム連携体制の構築→エリア店舗運営にチャレンジ
製造部門：粗利改善→省エネを意識した製造計画、繰返し利用可能な消耗品費の使用、
設備の老朽化→新工場へ移転

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 新工場を建設する
- 東京栗ここんの展開と玉川を含めた新たなマネジメント（3店戦略）
- おかしな大地、名古屋3店舗の成功（3店戦略）
- 旅する山の栞、100%稼働化（3つの協働戦略）
- 種子島安納製糖所建設準備と計画
- 宮崎戦略の成功

実施体制

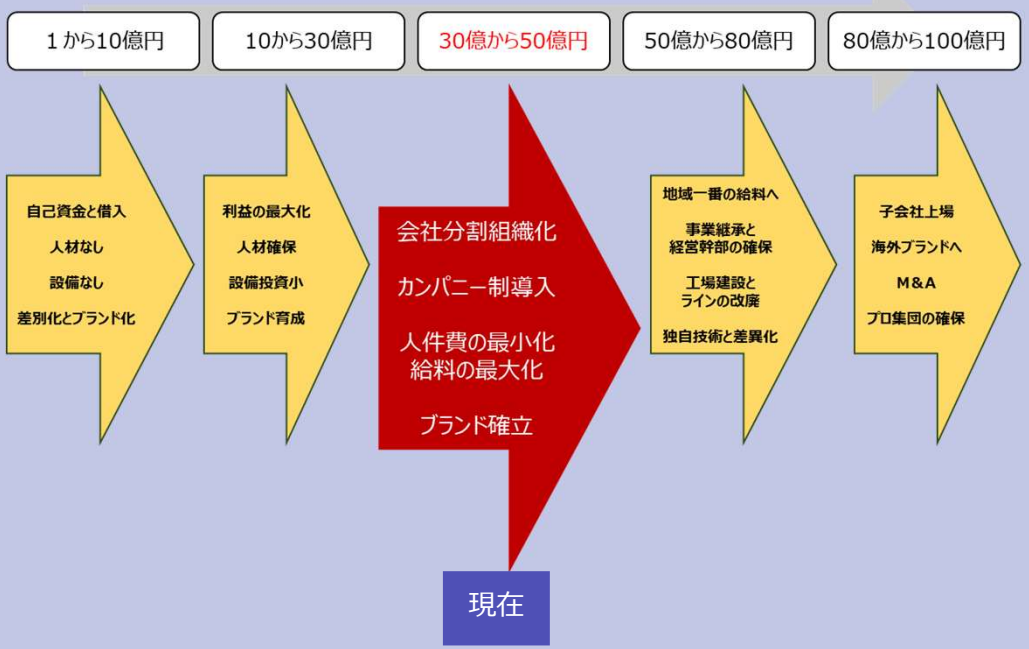
- 従業員が自ら物心両面の幸せを手に入れる
- 赤字月を無くし、売上対営業利益率10%を実現する
- 人と物を大切にする文化を育成する
- カンパニー制導入（取締役及び、社長を育成する）をする
- おかしな大地による、顧客の若返りを果たす
- 価値以上の価値を提供する仕組みと習慣作りを強みにする

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

100億宣言　株式会社恵那川上屋（菓子製造・販売業）

売上高実現の目標に向けた取組

100億円までのマネジメント

「子会社上場」「世界の和栗ブランド」「地域いちばんの給料」

売上目標　2033年に100億円を達成します